

令和5年度学校評価報告書

令和6年（2024年）3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道網走養護学校長

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

一人一人の将来につながる「今」の指導の充実と、意欲にあふれ、自ら学ぶ児童生徒の育成を図る

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校は食育・食事の指導を適切に実施し、効果を上げている。	給食費の不足から、行事食などを提供することが厳しく、給食での食育が難しい現状があった。発達年齢等を配慮しながら 児童生徒の実態に応じた食事指導の共通理解や実態に応じた計画等の作成と共有を行う必要がある	保護者からは高い評価を得ており、保護者からは一定の評価を受けている。
改善方策	次年度から給食費の値上げにより、工夫した給食提供をし、食育ができるように対応していく。	
学校は個人情報情報の取り扱いに十分注意し、事故防止に努めている。	学校の評価は3.10となっており、高い評価となっている。	昨年度より評価が0.32下がっており、今年度一番の下がり幅である。就学奨励費関係の誤配等の事故は起こってはいないが、個人情報については保護者が不安に思われていることが分かる。
改善方策	個人情報情報の取り扱いについてはマニュアルを整備し、誤配等が起こらない、起きてても中身が分からないように封筒に入れる、チェックが行える体制を取り、安心してもらえる体制整備を行い、対策を行った。	
学校は、効率よく業務にあたり、時間外勤務縮減に取り組んでいる	働き方改革を意識し、時間外勤務の縮減に向けて業務の平準化などを行っているが、学部間での格差が出ている。	業務の効率化については、全ての面にわたってくと思うので難しいところもある。業務を効率化してしまうと、保護者と教職員のコミュニケーションが不足していくということも懸念される。ここ数年は働き方改革も進んできているので理解はできるが、保護者と教職員の連携が不足していくので、線引きの決定が難しいと感じている。
改善方策	定時退勤日を設けていてもなかなか定時で帰宅できないことから、次年度さらなる縮減に向けて、各学部での取り組みを進めていく。	
学校は児童生徒の健康・衛生・疾病予防（新型コロナウイルス含）に努めている。	学校の評価は3.12となり、昨年度より高い評価を得ている。	今年度猛暑のため、学校休業、寄宿舎閉鎖を行った。暑さ対策については、熱中症対策として、エアコン設置の必要性が多くあった。また、学校施設の老朽化による安全上の問題が指摘されているため評価が下がったと考えられる。 (CS) 学校の老朽化について、授業等への影響・懸念が出ている。（プールや水治訓練室）

改善方策	来年度はスポットクーラーが配置、更に再来年度にはエアコンが設置されるため若干の対策はできると考えられる。 プールや水治訓練室については、改修工事（５年後）での改修工事が予定されているが、早急に必要性があるため、近隣のプール等を利用することも考えている。その場合交通費などの工面が必要になるため、関係機関との調整を行っていく。	
公表方法	本校公式ホームページに集約結果等を公開している。 学校評議員等に文書を配布し説明し指摘、意見等を拝聴している。	

3 添付資料

- | | | | |
|-----|--------|-------------------|----|
| (1) | 「別記様式」 | 令和５年度学校評価報告書 | 1部 |
| (2) | 令和５年度 | 自己評価書 | 1部 |
| (3) | 令和５年度 | 学校評価－学校関係者評価書 | 1部 |
| (4) | 令和５年度 | 学校評価集計結果 | 1部 |
| (5) | 令和５年度 | 令和５年度学校評価結果分析スライド | 1部 |